

オネダリをする女性は 大人それとも子供

オトコはいつまでも少年であり、オンナは母性本能があるから大人である。以前も書きましたが、わたしはこれも真理だと考えています。でも、男はうまく出来ないのに、女の人はオネダリがとっても上手。これって女性が幼いのでしょうか。女性がオネダリして男性がそれに答える。例えば、夜のクラブ。高価なプレゼントを買ったり、高級ボトルを入れたり。男性はそのホステスさんを気に入っているし、喜んでくれるのもうれいのでしょうか。でも、それだけでしょいか。実は、男性はホステスさんを通してその向こうにいる他のお客さんを見ているのです。「あの客より自分の方がいいものを…」と。

そう、クラブはオトコが虚栄心を張り合うステージ。特に高級クラブの場合、そこへ通うこと自体が、ステータスであって、自分の社会的地位の相対的な“確認”をする場でもあるのです。言うなら、女性のためではなく、むしろ自分の虚栄心を満たすためにお金を出している。女性はそれをわかっているからオネダリをする。決して子供じゃないんです。クラブは、そんなオネダリと虚栄心の関係がうまく成り立っている場なのです。

不景気の中の オネダリと消費活動

今や世界中が史上最悪の不景気の真っ只中。一体いつまで？しかし、景気が良くする人も、景気を悪くするの人も人なのではないでしょうか。「不景気」と聞くだけで、暗い気持ちになりま

すが、こんな時代でも楽しみを実感することはできます。もちろん、好景気の時と同じようにはいきませんが、どんな時でも、人の楽しみは消費活動が基本だと思います。不景気の中でも元氣な人は、一度に大金をかけるのではなく、小分けにして上手に使うのです。みんなで社会生活を止めるんじゃなく、小さく動かすんです。そうすればジワリジワリ社会が動き出す。ですから、不景気の中でも、女性も男性に大いにオネダリをしてほしいと思います。そして男性もこれに答えてあげてください。それが景気を動かすんです。しかしちゃんと、時代にあったオネダリですね。

豊かになった日本は どこへ向かうのでしょうか

今日は、若い人に元氣がないんで

す。彼らを見てると不安になります。成長しきった日本は、満たされてしまった国民は、何かを生み出したい、発見したいといった本質的な欲求をなくしてしまったのでしょうか。その上この世界大恐慌の波の中に日本も飲み込まれている。楽しいこと、嬉しいこと、悲しいこと、嫌なこと。みんなあります。でも、大事なのはいつも豊かな心を持っているということ。人の一生なんて短いんです。それをどう生きるかしかありません。ただ、不安になればなるほど、自分の位置を確認したい。だから他人と比較する必要があるんです。クラブのようにね。でも、決していがい合うための比較じゃないんですよ。

『オンナのオネダリと オトコの虚栄心』

藤井靖成



筆者からもう一言

波乱の中、今年も終わりに近づいてきました。皆様はどんな大晦日を迎えるのでしょうか。個人の力で景気を動かすことは難しいですが、不景気でも毎日財布は使うわけですね。大きなお金も小さなお金も同じなんです。お金は使い方が大事なんです。楽しみのためのお金を太いに少しづつ使ってくださいね。

著者プロフィール 藤井靖成

藤井クリニック院長。内科専門医であると同時に消化器内視鏡専門医・指導医として従事。胃がん、大腸がんの内視鏡治療・手術で磨いた技術と、豊富な経験をもとに美容外科の技術も習得。1万例の美容外科施術経験を積む。